

実習日：平成 29 年度第 I 期 7 月 12 日

実習先：大分三愛メディカルセンター

大学名・学年：福岡大学 5 回生

氏名：伊東 史晃

今回、ゆふみ病院では、緩和ケアに関わって行く上で気をつけるべき事、薬剤師として果たすべき責務などを学ばせて頂きました。

特に大事だと感じた事は、ただ単に患者さんの身体的苦痛だけを和らげる事を目的とするのではなく、社会的苦痛、精神的苦痛、スピリチュアル的苦痛を含めた全人的苦痛の緩和を目標とする事が必要であることです。その為、鎮痛作用だけがお薬選択の指標になるのではなく、その薬が患者さんの生活にどのような影響を与えるのかを考えなければいけません。使用する薬の特徴は、しっかりと把握しておく事が大事だと学びました。

また、患者さんだけでなく、患者さんの家族へのサポートが必要であることも学ばせて頂きました。患者さんの家族は、患者さんの状態や治療方針など、多くの不安を抱えています。少しでも不安を和らげる為、しっかりとした服薬指導を行うことや、患者さんや患者さんの家族の悩みを聞く事は、非常に大切な事だと感じました。

これからの薬剤師には、よりよい治療を行う為の「技術力」、患者さんを気遣う「人間力」の両方が求められている事を学びました。患者さんの生き方をサポート出来る薬剤師になる為、薬の知識以外の事も積極的に勉強していきたいです。実習をさせて頂き、ありがとうございました。